

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）

03岩手

6年後に達成する目標 (健康課題を踏まえた検査値等の改善目標)		血圧リスク保有率を男女とも令和4年度の全国平均値以下とする。[男性：55.0 女性：36.6] (令和4年度スコアリングレポートより)				
年度	R 6	R 7	R 8 (中間評価)	R 9	R 10	R 11 (最終評価)
目標	男性：58.6 女性：40.6	男性：57.9 女性：39.8	男性：57.2 女性：39.0	男性：56.5 女性：38.2	男性：55.8 女性：37.4	男性：55.0 女性：36.6

- 上記目標における各年度の結果に対する評価、要因検証等を行い、今後の対策を整理する。
 ※1) 自己評価欄は、下記を目安に判断し、A B C Dで評定すること
 A：目標値の120%以上 B：目標値の100%以上120%未満 C：目標値の80%以上100%未満 D：目標値の80%未満
 ※2) 記入欄が不足する場合は行を追加すること。なお、列の追加、幅の調整は行わないこと。

R 6	目標	男性：58.6 女性：40.6	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 7	目標	男性：57.9 女性：39.8	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 8	目標	男性：57.2 女性：39.0	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 9	目標	男性：56.5 女性：38.2	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 10	目標	男性：55.8 女性：37.4	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 11	目標	男性：55.0 女性：36.6	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					

- 次頁より、各分野のK P Iに加え、地域・職域において重点的に予防・改善すべき疾患、当該疾患を予防・改善するために着目すべき健診項目、着目した健診項目の検査値に影響を及ぼしている生活習慣、当該生活習慣を改善するためにどのような対象者にどのようなハイリスクアプローチ及びポピュレーションアプローチを行うかを整理し、個々の取組、具体策及び目標値を計画に記載する。
 ※3) 個々の取組における具体策は、実施年度の支部事業計画に記載すること。
 ※4) 取組欄を追加する場合は、取組欄（行）をコピーして使用すること。また、記入欄が不足する場合は行を追加すること。なお、列の追加や幅の調整は行わないこと。
 ※5) K P I 達成に向けた取組や具体策は、本計画には記載せず、実施年度の支部事業計画に記載すること。
- また、各年度の終了後には、取組の目標における各年度の結果に対する評価、要因検証等を行い、今後の対策を整理する。

健診											
KPI①	生活習慣病予防健診実施率	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
				64.4%							
KPI②	事業者健診データ取得率	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
				13.6%							
KPI③	特定健診実施率（被扶養者）	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
				29.8%							
今後 要因 の検 証策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか											
No.	健 ー 1	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6 ~ R11						
取組名称	運輸業・医療業の被保険者の健診受診率の向上			評価指標	被保険者受診率の向上						
				目標値	80.5%	R6	R7	R8	R9	R10	R11
						78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%	80.5%
取組の目的 及び具体策	<p>岩手県内の業態別健診受診者数の中で、運輸業・医療業の被保険者の健診受診率・事業者健診結果データの提供率が低い。そのため、その業態区分の中で、生活習慣病予防健診の受診率が低調な事業所や事業者健診結果に提供に同意をいただいていない事業所に対して関係機関と協力し、被保険者の健診受診率の向上を図る。</p> <p>※本部より提供があった「健診・保健指導カルテ」より「道路貨物運輸業」と「医療業・保健衛生」は岩手県の中では平均より低い健診受診率である。</p>										
今後 要因 の検 証策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

No.	健 ー 2	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6 ~ R11						
取組名称	県内沿岸部の健診受診率向上			評価指標	被扶養者の特定健診の受診率						
				目標値	22.5%	R6 20.0%	R7 20.5%	R8 21.0%	R9 21.5%	R10 22.0%	R11 22.5%
				実績							
取組の目的 及び具体策	<p>岩手県内の沿岸部では、健診実施機関数も少ないためか、特に被扶養者の特定健診の受診率が低調である。 そのため、その地域に対して支部主催の集団健診数の増加や沿岸部の市町村と協力し、特定健診の受診者数の増加を図る。 ※令和3年度、岩手県内の被扶養者の特定健診受診率（33市町 平均22.8%）に対して、沿岸部の被扶養者の特定健診受診率（12市町 平均19.7%）</p>										
今後 要因 の検 証策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

特定保健指導											
KPI①	特定保健指導実施率（被保険者）	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
				25.0%	26.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%		
KPI②	特定保健指導実施率（被扶養者）	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
				4.4%	5.0%	5.5%	6.0%	6.5%	7.0%		
今後の 要因の 検証 策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか											
No.	指 ー 1	アプローチ 方法	ハイリスクアプローチ	実施年度 (期間)	R6	～	R11				
取組名称	健診当日の初回面談実施件数の拡大（生活改善の定着）			評価指標	健診当日（健診一週間以内の分割実施を含む）初回面談実施件数						
				目標値	1950	R6	R7	R8	R9	R10	R11
						1700	1750	1800	1850	1900	1950
実績											
取組の目的 及び具体策	<p>標準的な健診・特定保健指導プログラム（第4期）の導入に伴い、健診当日一括実施や健診後一週間以内の分割実施においてプロセス評価の一つとしてポイントが加算されることになった。そのことから、健診後の早期介入することにより、対象者の生活改善の取り組みを早め、定着を促し、検査値の改善も促進されるとされていることから、特定保健指導を実施している健診機関へ実施件数の拡大についての支援を行っていく。</p> <p>※令和5年度 特定保健指導初回面談実施見込み件数（当日一括＋分割実施）1628件</p>										
今後の 要因の 検証 策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

No.	指 ー 2	アプローチ方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度(期間)	R6 ~ R11						
取組名称	被扶養者の特定保健指導実施機会の確保(拡大)			評価指標	被扶養者の特定保健指導実施率の向上						
				目標値	7.0%	R6	R7	R8	R9	R10	R11
				実績		4.4%	5.0%	5.5%	6.0%	6.5%	7.0%
取組の目的及び具体策	被扶養者の特定保健指導実施率が令和4年度実績にて全支部中ワースト1位である。実施率が伸び悩んでいる要因として、被扶養者が特定保健指導を利用出来る機関(※令和5年度 被扶養者が特定保健指導を受けることができる医療機関18機関、実際には保健師等の確保が困難なため、実施していない機関もある)や機会が限られることがあげられる。そのため、被扶養者が保健指導を受けることができる機会を確保に向けて、実施出来る機関への働きかけや市町村との連携、及び集団健診との同時実施を進めていく。										
今後要因の検証策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

重症化予防												
KPI①	未治療者への受診勧奨による医療機関受診率				目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11
					実績		11.66%	11.96%	12.26%	12.56%	12.86%	13.16%
要因後の検証・対策・	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか												
No.	重	1	アプローチ方法	ハイリスクアプローチ	実施年度(期間)	R6年度 ~ R11年度						
取組名称	LDLコレステロール値のみ受診勧奨対象者への二次勧奨実施(本部一次勧奨全体受診勧奨対象者への受診勧奨枠の拡大)				評価指標	未治療者の受診勧奨後の受診率						
					目標値	12.97%	R6	R7	R8	R9	R10	R11
					実績		10.47%	10.97%	11.47%	11.97%	12.47%	12.97%
取組の目的及び具体策	これまで、岩手支部においては、本部からの一次勧奨対象者よりLDLコレステロール値のみ受診勧奨対象者除き、二次勧奨を実施してきたが、これまでの対象者に加えて、LDLコレステロール値のみ対象者も併せて二次勧奨を実施していくことで、健診受診後の未治療者の受診を促していく。令和5年度(11月末時点)9.97% LDL対象者含む受診率											
要因後の検証・対策・	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											

No.	重 ー 2	アプローチ 方法	ハイリスクアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ~ R11年度						
取組名称	慢性腎臓病（CKD）予防のための対象者の受診勧奨			評価指標	腎臓病での医療機関受診者数 (ICD-10コード 1401、1402、1404について)						
				目標値	350	R 6 100	R 7 150	R 8 200	R 9 250	R10 300	R11 350
				実績							
取組の目的 及び具体策	<p>糖尿病性腎症での患者は4割を占めているが、その他の腎臓疾患（糸球体腎炎など）による人工透析の割合も4割と高い傾向である。また腎機能に関するアプローチを行っていないため、全体的に知識が少ないと考えられ、腎機能低下による人工透析の危機感があまりない可能性がある。人工透析になるまで自覚症状はほとんどなく、発見が遅れる。そのため早期介入によって、（慢性）腎不全、人工透析への移行を予防することが可能である。</p> <p>①、②の要件を満たすものへ対し、文書による受診勧奨を行う。受診勧奨者で医療機関受診者を10%以上とする。</p> <p>①尿たんぱく（+）以上 ②eGFR値60mg/dL未満 受診勧奨予定者 1067名（令和3年対象者リスト参考）</p>										
今後 要因の 検証策・	R 6										
	R 7										
	R 8										
	R 9										
	R10										
	R11										

No.	重 ー 3	アプローチ 方法	両方	実施年度 (期間)	R6 ~ R11						
取組名称	職場で取り組む禁煙チャレンジ			評価指標	職場で取り組む禁煙チャレンジへの新規参加事業所数						
				目標値	21	R6 1	R7 2	R8 3	R9 4	R10 5	R11 6
				実績							
取組の目的 及び具体策	<p>岩手県は全国の中での男女ともに喫煙率が高い。喫煙はあらゆる疾病の危険因子として、医学的根拠も周知されている。健康増進法においても、一次喫煙だけでなく受動喫煙（二次喫煙）の防止も謳われている。事業所の従業員は、かけがえのない財産であり、その従業員が健康を保持し業務に従事することは、事業所の経営にとっても重要であることから、禁煙支援を希望する事業所の担当者と同面談し、事業所の喫煙者の状況や環境面などについて確認し、事業所で禁煙について何を課題と考え、取り組みを進めていきたいかを事業所、従業員とともに考えて目標を設定を行い、目標到達を目指す。また、併せて健康教育（ポピュレーションアプローチを含む）を実施する。</p>										
今 後 の 検 証 策 ・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

コラボヘルス												
KPI①	宣言事業所数	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11			
		実績		1,830								
今要 後の 検証 策・	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか												
No.	コ	ー	1	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ~ R11年度					
取組名称	宣言事業所に対する血圧リスク保有割合を上昇させないための情報提供				評価指標	宣言事業所における血圧リスク該当率						
					目標値	令和4年度の 血圧リスク該当率50.9以下	R6	R7	R8	R9	R10	R11
					実績							
取組の目的 及び具体策	<p>①当支部は令和4年度血圧リスク保有割合が男性ワースト6位、女性ワースト5位。これ以上、血圧リスク該当率を上昇させないため、血圧に関する情報（塩分、喫煙、睡眠、肥満、歯周病等に関するもの）を年2回提供する。情報は塩分摂取量や高血圧チェックシートなど自らの健康意識改善に向け、簡単に取組むことができるような内容も織り交ぜる。</p> <p>②R6年度以降、全ての宣言事業所に保健指導者が事業所カルテ等を活用して事業所の健康状態を説明、併せて特定保健指導についても利用勧奨を行うことで、血圧リスク該当率の上昇を防ぐと同時に、特定保健指導実施率（実績評価）30%を目指す。</p>											
今要 後の 検証 策・	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											

No.	コ ー 2	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ~ R11年度						
取組名称	推定塩分摂取量測定による減塩啓発および調査研究事業			評価指標	宣言事業所における血圧リスク該当率						
				目標値	令和4年度の 血圧リスク該当率50.9以下	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
				実績							
取組の目的 及び具体策	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言事業所の加入者に対して外部委託により推定塩分摂取量測定を実施し、塩分摂取量を把握させることで生活習慣を自ら改善させるきっかけにする。測定後は意識変化にかかるアンケートを実施。 ・アンケート調査結果、及び推定塩分摂取量測定結果データと健診結果データの経年変化について分析を行い、本事業の効果を検証。関係機関会議等で本事業内容、及び分析結果を発信。 										
今 後 の 検 証 策 ・	R 6										
	R 7										
	R 8										
	R 9										
	R10										
	R11										